

本件資料は、横須賀市記者クラブ(港空研)においても同時配布

平成19年10月11日

航空局飛行場部建設課  
(独)港湾空港技術研究所空港研究センター

### 実物大の空港施設を用いた液状化実験について

#### ポイント

- ・ 実物大の空港施設を使用します。
- ・ 液状化が空港施設に及ぼす影響の詳細な把握が可能です。
- ・ 液状化対策のコスト縮減に繋がります。

国土交通省航空局では、空港において耐震対策を進めることとしていますが、液状化が空港施設に及ぼす影響を把握するとともに液状化対策に係るコスト縮減を図るため、実物大の空港施設に対する液状化実証実験を行います。

なお、実験の結果については、液状化による舗装直下の空洞の発生状況や沈下状況等の確認に一定期間の観測が必要となるため、概ね1ヶ月後を目途にHP(<http://www.pari.go.jp>)への掲載を予定しています。

#### 記

##### (1) 実験内容

別紙

##### (2) 実験日時・場所

日時:平成19年10月27日(土曜日)11時(予定)

場所:小樽市銭函5丁目61番2地先(石狩湾新港内埋立地内)

※実験場所周辺全域が一般立ち入り禁止区域であり、かつ爆発物を使用する実験であるため、一般公開はいたしませんので、取材等を希望される記者は「会社名」、「名前」、「連絡先(TEL,FAX,E-mail(可))」を明記の上、下記に必ず申し込んで下さい。折り返し、当日の詳細なご案内を差し上げます。

締切り: 10月23日(火)

申込先: (独)港湾空港技術研究所企画課、平山、森澤

TEL046-844-5040,FAX046-844-5072,E-mail:regist@ipc.pari.go.jp

#### 問合せ先

(10月25日まで)

#### 実験目的等について

航空局飛行場部建設課

麻山(内線 49503) 直通 03-5253-8727

#### 実験内容等について

(独)港湾空港技術研究所

菅野・中澤(046-844-5058)但し、実験一週間前から下記番号

(10月26日、27日)

現地実験場

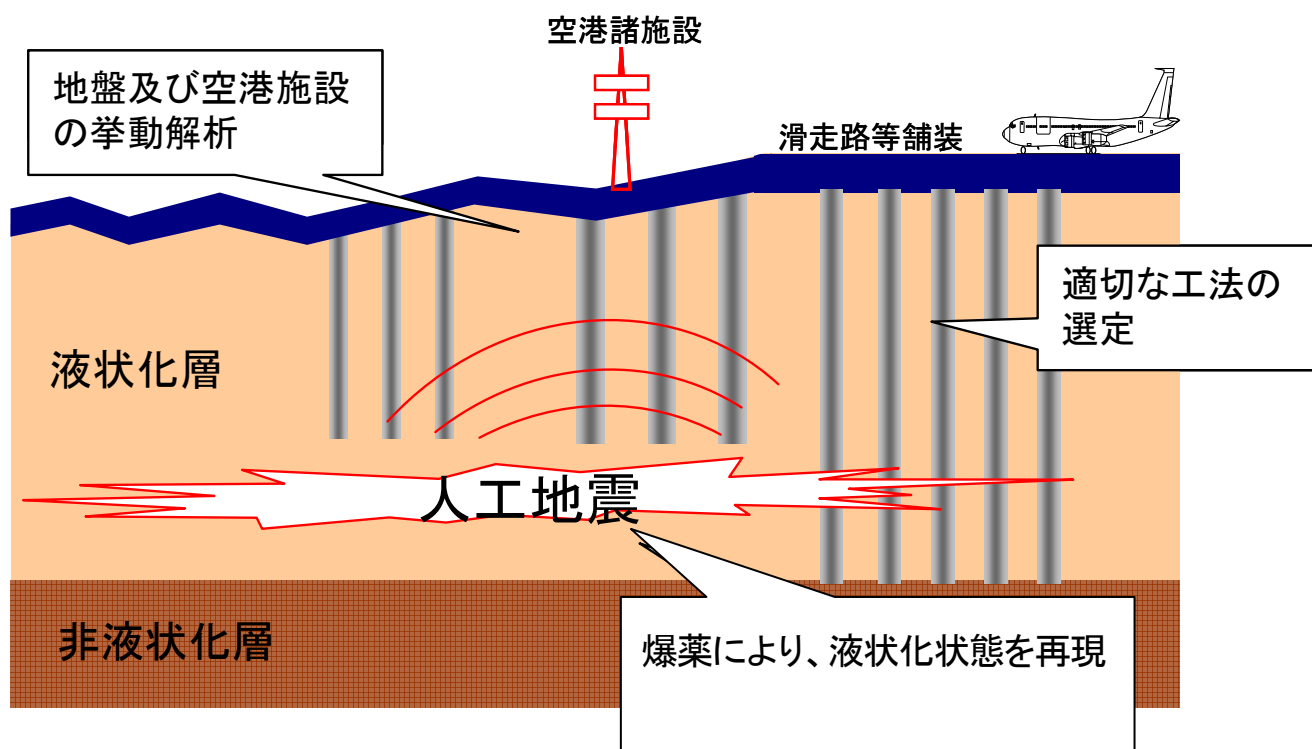
菅野(080-3415-9992)・中澤(090-9855-8834)

## 実験内容

## 【目的】

- ・ 液状化が滑走路や無線施設等の空港施設に及ぼす影響の把握
- ・ 液状化対策に係るコスト縮減方法の検討
- ・ 地震発生後の空港供用再開の目安の検討

## 【実験イメージ図】



## 【実験体制】

国土交通省の委託を受け、(独)港湾空港技術研究所が実験を行います。なお、実験にあたっては、広く共同研究者を募り、空港施設の耐震性の向上に資する研究について総数で30の研究(延べ41機関)との共同研究を進めることとしています。

行政、大学・独立法人研究所 6機関

協会等 8機関

民間 27社

# 実験地へのアクセス

JR手稲駅より車で約30分

